

がん検診へ行きませんか？

新型コロナウイルス感染症の流行により、2020年に実施されたがん検診の受診者は2019年と比べ30.5%減少していることが、公益財団法人日本対がん協会の調査でわかりました。※

がんを治すには、早期発見・早期治療が重要な鍵になります。自覚症状が無いうちに発見出来る可能性があるがん検診は、罹患者の生存率を上げるために必要なものといえます。がん検診で行っている胃、肺、大腸、乳房、子宮は、早期発見・早期治療を行うことで死亡率がぐっと下がることが科学的に証明されている部位です。

2021年5月現在、京都市や京都府下にある市町村は、感染症対策を行った上でがん検診を実施しています。自治体によってがん検診の時期が異なるので、ぜひ一度お住まいの市町村のがん検診について調べてみてください。お住まい先によっては無料クーポンを配布していたり、受診料金の免除制度もあります。自覚症状がある方はがん検診を待たずにまずかかりつけ医を受診されてくださいね。

(※調査対象：全国の日本対がん協会グループ支部、2021年3月発表。)

参考資料：日本対がん協会ホームページ

がん相談支援センターだより

2021.6月発行

25号

Q. 健診と検診の違いってなに？

健診は『健康診断』の略称で、全身の健康状態をみるものです。病気の予防や早期発見を目的としています。

検診は特定の病気にかかっているかどうかを検査するものです。早期発見・早期治療を目的としており、がん検診や歯科検診などはこちらになります。

タオル帽子あります

がん相談支援センターでは、抗がん剤治療による脱毛の副作用がある方などを対象に、タオル帽子を無料でお渡ししています。タオル地のものから薄手のものなどいくつか種類がありますので、ご入り用の方はどうぞお気軽に相談員までお声掛け下さい。



がんに関する疑問や不安、悩みに対しがん専門相談員が皆様のお話を伺い、一緒に考え、問題を解決するお手伝いをしています。電話でも直接お越しいただいても構いません。

【相談時間】：平日(祝日除く)9:00~12:00

13:00~16:00

【場所】：外来診療棟1階 ②地域医療連携室内

【電話番号】：075-251-5283・5284(直通)

面談でお越しいただいた際は②番窓口にお声かけください。

